

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	239200010
事業所名	元町グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、自治会・老人会役員は運営推進会議メンバーでもある。毎年地域包括職員小学校では、「認知症講座」を開催し、その先進的な取り組みに市の担当者も見学に来るほどである。近所のスーパーでは、家族・地域を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催した旨が運営推進会議で報告されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	自治会および老人会役員・介護相談員・地域包括職員・家族・職員をメンバーとし年6回の開催が確認された。来年度から警察・消防の参加も呼び掛けている。事故防止のため現場職員6名による委員会による、日常に潜む「ヒヤリハット」対策委員の発足も報告されている。恒例となった小学校での認知症講座開催、スーパーでの「サポーター養成講座」開催も報告されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は介護認定委員を市から受託しており、月一回はその会合のため市役所に出かけ、その折にホームの様々な要望・疑問を担当者に相談している。恒例となった小学校での「認知症講座」もその先進的取り組みに市の担当者が見学に来るほどとなった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホーム便りは毎月発行され、外出時の様子、ホームイベントの写真等が掲載されている。家族会は年2回行っているが、入居者と一緒では話にくいこともあるだろうと、職員と家族だけの会合を設けた。帰宅願望の強い人には人員を手厚く配置して個別に望みをかなえている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。